

証券コード：9179



"K" LINE KINKAI

# 株主通信

第51期 2016年4月1日 ▶ 2016年9月30日



やまさくら

川崎近海汽船株式会社

# 株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第51期第2四半期の営業概況ならびに事業内容をご理解いただくために、株主通信をお届けいたします。

当第2四半期連結累計期間（2016年4月1日から2016年9月30日まで）におけるわが国経済は、個人消費の停滞感で景気の先行きは不透明な状況が続きました。当社の近海部門は外航海運の市況低迷の影響を受け円高も加わり収支は悪化しました。また内航部門は夏場に連続発生した台風による天候不順で輸送量に影響を及ぼしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は179億96百万円となり前年同期に比べて18.9%の減収となりました。営業利益は6億82百万円となり同54.1%の減益、経常利益は5億85百万円となり同59.9%の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億1百万円となり同89.4%の減益となりました。

このように極めて厳しい経営環境下にあります。当社は安定配当の継続を配当政策の基本方針に掲げており、また今後の事業展開の進捗状況も勘案し中間（第2四半期末）配当金を、1株当たり4円とさせていただくことにいたしました。なお、期末配当金につきましても1株当たり4円を予定しており、年間配当金は1株当たり8円となる予定です。

さて、新事業として本年3月に就航したオフショア支援船“あかつき”は、地球深部探査船“ちきゅう”の支援活動ならびに国際石油開発帝石(株)の石油・天然ガス試掘のサプライ業務に従事するなど順調にスタートしました。また本年10月より内航定期船航路網の拡充を目指しRORO船による清水一大分航路を開設しました。

今後とも株主の皆様におかれましては、引き続き変わりのないご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 石井繁礼

## CONTENTS

株主の皆様へ	1	トピックス	7
財務ハイライト	2	連結財務諸表	9
部門別営業概況	3	会社概要・株式の状況	10
船舶紹介	4	株主メモ	裏表紙
特集：50年のあゆみ	5		

# 財務ハイライト

## 当第2四半期の業績結果

### 連結業績

売上高	179億96百万円	(前期比-18.9%)
営業利益	6億82百万円	(前期比-54.1%)
経常利益	5億85百万円	(前期比-59.9%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1億1百万円	(前期比-89.4%)

### 連結財務状況

総資産	387億50百万円
純資産	226億96百万円

### 連結キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フロー	8億83百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30億84百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	20億24百万円

### 中間(第2四半期末)配当金

1株当たり4円

## 通期の業績予想

### 連結業績

売上高	368.0億円
営業利益	13.5億円
経常利益	12.0億円
親会社株主に帰属する四半期純利益	6.0億円

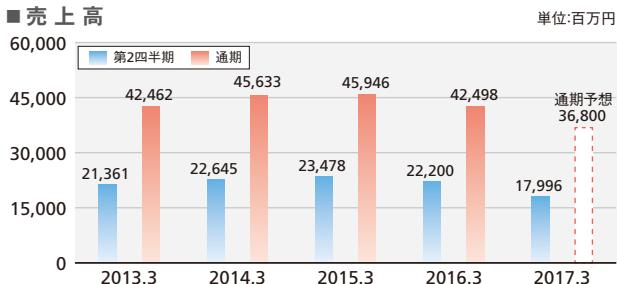
(下期の想定円ドル為替レート 1ドル=100円)

### 年間配当金

1株当たり8円(中間(第2四半期末)4円・期末4円)を予定



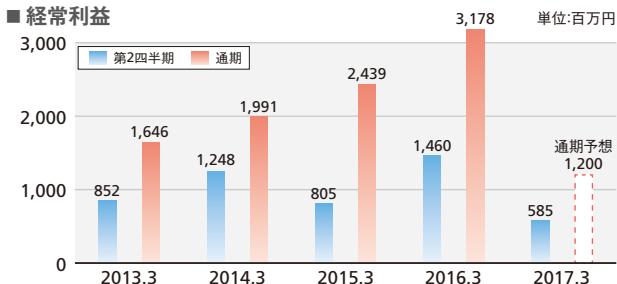
### 売上高



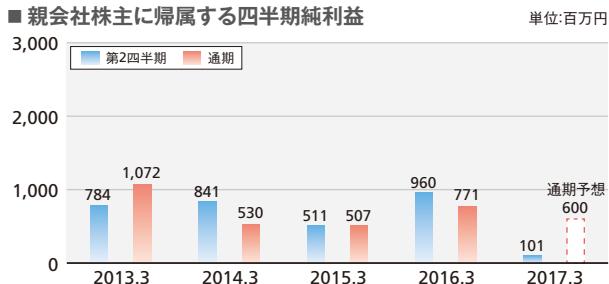
### 営業利益



### 経常利益



### 親会社株主に帰属する四半期純利益



# 部門別営業概況

## 近海部門

売上高

54億8百万円



### バルク輸送

石炭輸送が減少した一方でセメント、穀物の輸送が増加し、全体的には前年同期並みの輸送量を確保しました。

### 木材輸送

チップ輸送船を売船処分したことでチップ輸送量は減少したものの、輸入合板はシェアを増やし輸送量が増えました。

またPKS（アブラヤシの殻）についてはバイオマス燃料発電所の稼働拡大にあわせ、輸送量は大幅に増加しました。

### 鋼材・雑貨輸送

東南アジア向けのパイプ、製缶用鋼材の需要低迷により、前年同期比輸送量は減少しました。

当部門の売上高は市況低迷、円高により売上高は54億8百万円となり、前年同期比36.5%の大幅減収となりました。営業損失は前年同期3億66百万円から、当期は9億22百万円に拡大しました。

## 内航部門

売上高

125億86百万円



### 不定期船輸送

石灰石及び石炭の各専用船は安定した輸送量を確保しました。また、小型貨物船では輸送量は前年同期を上回ったものの、市況の低迷が収支を圧迫しました。

### 定期船輸送

国内経済の低迷を受け、国内の物流動向は低調に推移しました。8月に連続して発生した台風の影響で、欠航便が相次いだことなどにより前年同期を下回る輸送量となりました。

### フェリー輸送

ドライバーの休憩時間確保を理由に、宅配貨物を中心にトラックの輸送量は前年同期を上回りました。乗用車、旅客は、8月の荒天や連休が少なかった影響もあり前年同期を下回る輸送量となりました。

当部門では、燃料油価格の前年同期比での下落に伴う運賃収入の減少などにより売上高は125億86百万円で前年同期に比べて8.0%の減収となり、営業利益は売上高の減収に加え新規航路開設に係る費用の増加などにより16億4百万円で前年同期比13.5%の減益となりました。

# 船舶紹介

## 近海部門



GLORIOUS FUTURE



TROPICAL BINTANG

計24隻

### バルク輸送

ロシア、中国、ベトナム、インドネシア、豪州から日本向けに石炭、北米から日本および東南アジア向けに穀物、タイから日本、東南アジア向けに石膏、砂糖、フィリピンから日本向けにドロマイトなどを輸送しています。

### 木材輸送

マレーシア、インドネシアから日本向けに合板、製材、パプアニューギニアから日本、東南アジア向けに南洋材、マレーシアから日本向けに製材用チップ、マレーシア、インドネシアから日本向けにPKSなどを輸送しています。

### 鋼材・雑貨輸送

日本が東南アジアむけに鋼材、機械、プラント部材などを輸送しています。

## 内航部門



千津川丸



富王丸



シルバープリンセス

10隻

### 不定期船輸送

鉄鋼副原料やセメント原料となる石灰石、電力（火力発電）用石炭のほか、石膏、国産材、木材チップなど多様な物資を日本各地に輸送しています。

9隻

### 定期船輸送

貨物を積載したトレーラーやトラック、建設機械、商品乗用車等の無人航送を行う「RORO船」定期航路を運航し、主に関東から北海道間、関東から九州間でさまざまな品物を効率的に輸送しています。

4隻

### フェリー輸送

八戸と苫小牧の間を1日4往復運航し、本州と北海道を最短ルートで結ぶ重要基幹航路として、宅配貨物や生鮮食料品など人々の暮らしに必要な物資を輸送しています。

# 特集：50年のあゆみ

当社は2016年5月に会社設立50周年を迎えました。

これも偏に株主の皆様をはじめ、  
関係各位のご支援の賜物と心より御礼申し上げます。

この機会に当社の歴史の一端をご紹介します。  
株主の皆様にご理解いただく  
一助となれば幸いです。



神港ビル

## 1960年

1966年 5月 会社設立 川崎汽船㈱の内航営業権を継承  
10月 東京／苫小牧定期航路開設

## 1970年

1970年 4月 日本／サバ・サラワク定期航路開始  
11月 日本／香港・海峡地定期航路開設  
1971年 11月 シルバーフェリー(株)設立  
1973年 4月 5,000重量トン以上を含む全南洋材船の配船開始

## 1980年

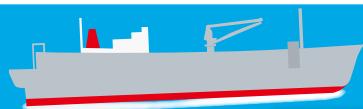
1981年 11月 東京・日立／苫小牧コンテナサービス開始  
1982年 9月 シルバーフェリー 2代目“シルバークイーン2”が  
八戸／苫小牧航路に就航  
1983年 7月 本社を飯野ビルに移転  
1984年 5月 石灰石専用船“千津川丸”就航  
1985年 11月  
1986年 4月  
11月  
1988年 4月

## 1990年

1992年 4月 シルバーフェリー(株)と合併、  
八戸／苫小牧旅客フェリー事業を継承  
7月 石灰石専用プッシャーバージ“須寿川丸”就航  
10月 釧路事務所(現 釧路支店)開設  
1993年 7月 釧路／日立定期航路開設、高速RORO船“ほくれん丸”就航  
1995年 3月  
1997年 6月  
1998年 3月  
1999年 9月

## 2000年

2000年 9月 東マレーシアKUCHINGに現地法人  
KAWASAKI KINKAI KISEN KAISHA(M)SDN, BHD.  
(現“K”LINE KINKAI(MALAYSIA)SDN, BHD.)を設立  
2001年 7月 常陸那珂／苫小牧定期航路“勇王丸”就航、  
“新北王丸”とともにデイリー運航サービス開始  
近海郵船物流(株)(現 近海郵船(株))と共同運航開始  
9月 チップ専用船“TROPICAL SEAROAD”に続き  
“TROPICAL BREEZE”就航  
2002年 10月 苫小牧／釧路／仙台／東京／名古屋／大阪定期航路  
開設、RORO船“神川丸”就航  
2004年 7月 本社を大同生命霞が関ビルに移転  
2006年 4月 北九州事務所(現 九州支店)開設  
6月 高速RORO船2代目“ほくれん丸”就航  
日立／北九州定期航路開設  
28,000重量トン型  
“GLORIOUS FUTURE”就航  
7月 高速RORO船2代目  
“第二ほくれん丸”就航  
12月 旅客フェリー 1日4便体制  
17,000重量トン型“CHIKUSA”就航  
2007年 10月 石灰石専用船“美津川丸”就航  
2008年 2月 石炭専用船“JP COSMOS”就航  
11月 石炭専用船“JP TSUBAKI”就航  
2009年 2月 ツインデッキ型貨物船  
“TROPICAL VENUS”就航  
8月 日立支店を常陸那珂地区に移転し  
新たに日立港事務所を開設





初代 北王丸



初代 ほっかいどう丸



飯野ビル



有価証券  
上場承認通知書



3代目 シルバークィーン

1968年 10月 日本／インドシナ定期航路開始  
 1969年 3月 本邦初の内航RORO船“北王丸”東京／苫小牧航路就航

4月 近海不定期船自営運航開始  
 石灰石専用プッシャーバージ“美津川丸”就航

4月 新造“シルバークィーン”により八戸／苫小牧旅客  
 フェリー事業開始

10月 日本沿海フェリー(株) (現 商船三井フェリー(株))との共  
 同運営により東京／苫小牧貨物フェリー事業を開始  
 1974年 10月 RORO船“釧路丸”竣工、巻取紙専用船として運航  
 1975年 4月 本社を東京都千代田区東京海上ビル新館に移転  
 1976年 3月 貨物フェリー“ほっかいどう丸”竣工、  
 東京／苫小牧航路に就航

1974年 10月 RORO船“釧路丸”竣工、巻取紙専用船として運航  
 1975年 4月 本社を東京都千代田区東京海上ビル新館に移転

菱化海運(株) (現 三菱化学物流(株))との共同運航  
 により門司／日立コンテナサービス開始  
 日本／バンコク在来船定期航路配船開始  
 シンガポール駐在事務所開設  
 日立事務所 (現 日立支店) 開設

8月 多目的RORO船3代目“北王丸”竣工  
 東京・日立／苫小牧定期航路に就航  
 12月 シンガポール駐在事務所を廃止、現地法人CROSS TRADE SHIPPING  
 PTE LTD (現 “K”LINE KINKAI(SINGAPORE) PTE LTD)を設立  
 1989年 9月 当社初のチップ専用船“TROPICAL SEAROAD”就航

東京証券取引所第二部上場  
 釧路／日立定期航路に高速RORO船  
 “第二ほくれん丸”就航  
 旅客フェリー 3代目“シルバークィーン”就航  
 超高速貨物フェリー 3代目“ほっかいどう丸”就航

11月 日南事務所開設  
 12月 日南／大阪／東京 (現 日南／細島／東京)  
 定期航路開設、RORO船“南王丸”就航  
 苫小牧／日立 (現 苫小牧／常陸那珂) 定期  
 航路開設、RORO船“新北王丸”就航

2010年 11月 28,000重量トン型“MAGNOLIA ACE”就航  
 2011年 4月 ツインデッキ型貨物船“TROPICAL BINTANG”就航  
 2012年 4月 旅客フェリー新造“シルバープリンセス”就航  
 2013年 2月 石灰専用船“やまさくら”就航  
 新造大型RORO船4代目“ほっかいどう丸”就航  
 6月 旅客フェリー新造“シルバーエイト”就航  
 11月 本社を霞が関コモンゲートに移転  
 2014年 6月 スモールハンディ船“GALLEON”就航  
 8月 新造大型RORO船5代目“北王丸”就航  
 2016年 3月 当社初となるオフショア支援船“あかつき”就航  
 5月 会社設立50周年  
 50周年記念式典挙行  
 9月 石灰石専用船3代目“千津川丸”就航



# トピックス

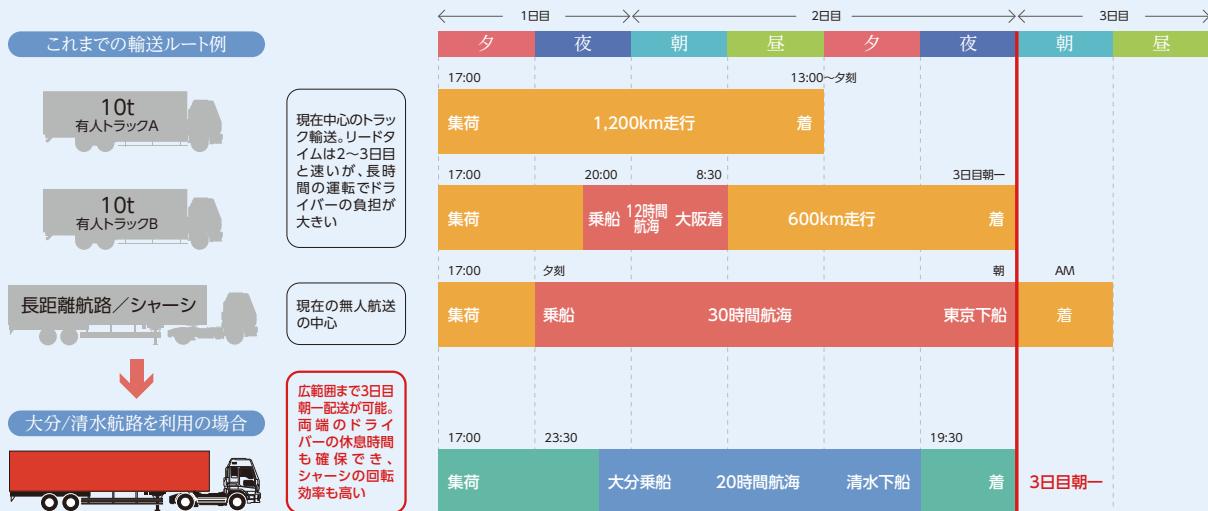
## Topics 1 清水—大分航路開設のご案内

このたび当社は、静岡県清水港と大分県大分港をRORO船で結ぶ新規航路を、2016年10月に開設いたしました。

この航路開設によって、首都圏／甲信—九州間の物流のモーダルシフトが加速し、今後予想されるドライバー不足問題の解決策の一つとなることを確信しております。

航路名	清水—大分航路（762km / 412海里）
開設日	2016年10月3日
運航計画	清水—大分間を20時間で結ぶ週3便の運航（19：00着～23：00発）
埠頭名	清水港 袖師埠頭 / 大分港 大在埠頭
船名	北王丸
	●全長：173.10m ●全幅：27.00m ●総トン数：11,492t
	●航海速力：22.6ノット ●車輛積載能力：12mシャーシ160台、乗用車100台

### 九州→東京の場合の輸送ルート比較



東京→九州も同じリードタイムでの輸送が可能となります。

## Topics 2 新事務所開設

当社では2016年10月の清水ー大分航路開設に合わせ、両港の事務所を開設いたしました。

### 清水事務所

名称：川崎近海汽船株式会社 清水事務所  
住所：〒424-0943 静岡県静岡市清水区港町1丁目5-1 清水川崎運輸株式会社 2階  
TEL: 050-3821-1535 FAX: 054-397-0952

### 大分事務所

名称：川崎近海汽船株式会社 大分事務所  
住所：〒870-0266 大分県大分市大字大在6番地 大分国際貿易センタービル 3階  
TEL: 050-3821-1540 FAX: 097-500-6395

### 開設日

2016年6月1日

## Topics 3 「バイオマス関連輸送ワーキンググループ」新設について

このたび当社は、かねてより需要の増大が期待されておりますバイオマス燃料用貨物（PKS、木質ペレット等）輸送につきまして、その取り組みを強化するべく外航営業部内に専任機関を設置いたしました。

### 業務概要

1. 外航営業部内で専門のスタッフを選任し、営業、オペレーション窓口とする。
2. 輸送環境や需給状況の変化を日々追求し、顧客ニーズにキャッチアップする体制を強化する。

### 新設日

2016年10月3日

## 表紙の船

The Ship on the Cover

## “やまさくら”

### 船舶概要

総トン数	17,658t	載貨重量トン	15,000t
全長	150.00m	型幅	27.20m
航海速度	13ノット		

“やまさくら”は東京電力(株)広野火力発電所向け石炭二次輸送船として2013年1月に大分県の(株)三浦造船所で竣工しました。

セルフローダー・アンローダー式石炭専用船としては国内最大船型です。

福島県の東京電力小名浜コールセンターから広野火力発電所へ石炭をピストン輸送しており、就航から既に420航海、輸送量も540万トンを超え、広野火力発電所の安定操業を支えています。



# 連結財務諸表

## 第2四半期連結貸借対照表(要約)

(単位: 千円)

資産の部	当第2四半期末 2016年9月30日現在	前期末 2016年3月31日現在
<b>流動資産</b>	<b>11,540,815</b>	<b>11,527,346</b>
<b>固定資産</b>	<b>27,209,254</b>	<b>25,587,869</b>
有形固定資産	23,063,183	21,263,828
無形固定資産	135,813	142,594
投資その他の資産	4,010,257	4,181,445
<b>資産合計</b>	<b>38,750,069</b>	<b>37,115,215</b>
負債の部	当第2四半期末 2016年9月30日現在	前期末 2016年3月31日現在
<b>流動負債</b>	<b>6,188,785</b>	<b>5,906,338</b>
<b>固定負債</b>	<b>9,864,511</b>	<b>8,215,110</b>
<b>負債合計</b>	<b>16,053,297</b>	<b>14,121,448</b>
純資産の部	当第2四半期末 2016年9月30日現在	前期末 2016年3月31日現在
<b>株主資本</b>	<b>22,611,313</b>	<b>22,715,215</b>
資本金	2,368,650	2,368,650
資本剰余金	1,248,849	1,248,849
利益剰余金	19,021,682	19,125,584
自己株式	△27,867	△27,867
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>84,060</b>	<b>276,877</b>
その他有価証券評価差額金	163,982	205,873
土地再評価差額金	123,028	123,028
為替換算調整勘定	△15,156	146,414
退職給付に係る調整累計額	△187,793	△198,438
<b>非支配株主持分</b>	<b>1,398</b>	<b>1,673</b>
<b>純資産合計</b>	<b>22,696,772</b>	<b>22,993,766</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>38,750,069</b>	<b>37,115,215</b>

## 第2四半期連結損益計算書(要約)

(単位: 千円)

	当第2四半期 累計期間 自 2016年4月1日 至 2016年9月30日	前第2四半期 累計期間 自 2015年4月1日 至 2015年9月30日
<b>売上高</b>	<b>17,996,599</b>	<b>22,200,946</b>
<b>売上原価</b>	<b>15,356,061</b>	<b>18,860,317</b>
売上総利益	2,640,537	3,340,628
販売費及び一般管理費	1,957,556	1,852,883
<b>営業利益</b>	<b>682,981</b>	<b>1,487,745</b>
営業外収益	63,713	38,174
営業外費用	161,375	65,323
<b>経常利益</b>	<b>585,318</b>	<b>1,460,595</b>
特別利益	114,678	—
特別損失	464,749	—
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>235,248</b>	<b>1,460,595</b>
法人税、住民税及び事業税	61,564	523,624
法人税等調整額	72,354	△23,586
<b>四半期純利益</b>	<b>101,329</b>	<b>960,557</b>
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△275	△244
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>101,604</b>	<b>960,802</b>

## 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位: 千円)

	当第2四半期 累計期間 自 2016年4月1日 至 2016年9月30日	前第2四半期 累計期間 自 2015年4月1日 至 2015年9月30日
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>883,431</b>	<b>2,241,196</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△3,084,330</b>	<b>△392,207</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,024,546</b>	<b>△1,408,419</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△66,295	△4,078
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△242,648	436,490
現金及び現金同等物の期首残高	5,468,984	7,068,135
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,226,336	7,504,626

記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

# 会社概要 (2016年9月30日現在)

社名	川崎近海汽船株式会社 KAWASAKI KINKAI KISEN KAISHA,LTD.																																
設立	1966年(昭和41年)5月1日																																
本社	東京都千代田区霞が関三丁目2番1号																																
資本金	23億6,865万円																																
代表者	代表取締役社長 石井 繁礼																																
従業員数	418名(グループ会社含む)																																
主な事業内容	海上運送事業 海運仲立業 港海運送事業および倉庫業 貨物運送取扱事業 海運代理店業																																
役員	<table> <tr> <td>代表取締役社長</td> <td>石井 繁礼</td> </tr> <tr> <td>取締役副社長</td> <td>赤沼 宏</td> </tr> <tr> <td>常務取締役</td> <td>友井 彰彦</td> </tr> <tr> <td>常務取締役</td> <td>杉本 利文</td> </tr> <tr> <td>常務取締役</td> <td>寅谷 剛</td> </tr> <tr> <td>常務取締役</td> <td>小山 卓三</td> </tr> <tr> <td>常務取締役</td> <td>川崎 誠司</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>馬場 信行</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>川戸 淳</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>佐野 秀広</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>久下 豊</td> </tr> <tr> <td>取締役</td> <td>池田 強</td> </tr> <tr> <td>取締役(社外)</td> <td>陶浪 隆生*</td> </tr> <tr> <td>監査役(常勤)</td> <td>西浦 廣明</td> </tr> <tr> <td>監査役(社外)</td> <td>鈴木 修一*</td> </tr> <tr> <td>監査役(社外)</td> <td>倉富 正敏</td> </tr> </table>	代表取締役社長	石井 繁礼	取締役副社長	赤沼 宏	常務取締役	友井 彰彦	常務取締役	杉本 利文	常務取締役	寅谷 剛	常務取締役	小山 卓三	常務取締役	川崎 誠司	取締役	馬場 信行	取締役	川戸 淳	取締役	佐野 秀広	取締役	久下 豊	取締役	池田 強	取締役(社外)	陶浪 隆生*	監査役(常勤)	西浦 廣明	監査役(社外)	鈴木 修一*	監査役(社外)	倉富 正敏
代表取締役社長	石井 繁礼																																
取締役副社長	赤沼 宏																																
常務取締役	友井 彰彦																																
常務取締役	杉本 利文																																
常務取締役	寅谷 剛																																
常務取締役	小山 卓三																																
常務取締役	川崎 誠司																																
取締役	馬場 信行																																
取締役	川戸 淳																																
取締役	佐野 秀広																																
取締役	久下 豊																																
取締役	池田 強																																
取締役(社外)	陶浪 隆生*																																
監査役(常勤)	西浦 廣明																																
監査役(社外)	鈴木 修一*																																
監査役(社外)	倉富 正敏																																

(注)\* 陶浪隆生・鈴木修一は東京証券取引所の規則に定める独立役員として届け出ております。

# 株式の状況 (2016年9月30日現在)

発行済株式の総数 29,358,155株 (自己株式166,845株を除く)

株主数 3,399名 (前期末比 196名増)

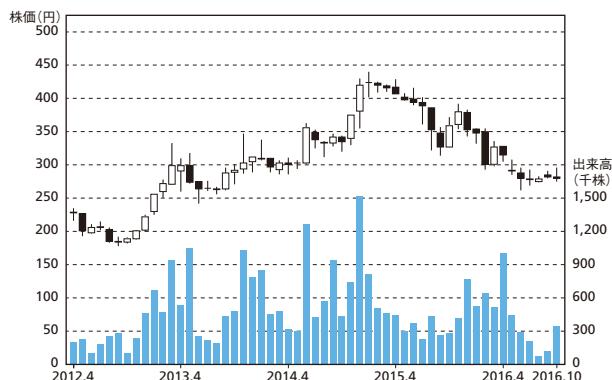
大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	株式数 (千株)	持株比率 (%)
川崎汽船株式会社	14,040	47.55%
東京海上日動火災保険株式会社	1,104	3.74%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	950	3.22%
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	864	2.93%
三井住友海上火災保険株式会社	598	2.03%
小池 恒三	403	1.36%
川崎近海汽船従業員持株会	392	1.33%
北海運輸株式会社	350	1.19%
株式会社栗林商会	304	1.03%
HORIZON GROWTH FUND N. V.	297	1.01%

## 株式の所有者別状況



## 株価及び株式売買高の推移 (2016年9月末現在)



# 川崎近海汽船株式會社

東京都千代田区霞が関三丁目2番1号 (〒100-0013)

TEL:03-3592-5800 FAX:03-3592-5911

## 株主メモ

■事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■定時株主総会	6月
■同上権利行使株主確定日	3月31日
■期末配当金受領株主確定日	3月31日
■中間(第2四半期末)配当金受領株主確定日	9月30日
■基準日	上記確定日のほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
■株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
■特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
■郵送物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
■公告方法	電子公告により行います。公告掲載URL ( <a href="http://www.kawakin.co.jp/">http://www.kawakin.co.jp/</a> ) ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
■住所変更、単元未満株式の 買取等のお申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、 特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
■未払配当金の支払について	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
■配当金計算書について	配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。確定申告をなされる株主様は大切に保管願います。 ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。

当社IRサイトをご活用ください。→ <http://www.kawakin.co.jp/ir/>

当社ホームページでは、プレスリリースや決算情報等を掲載しております。ぜひご活用ください。



古紙配合率70%再生紙を使用しています